

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年2月12日
【四半期会計期間】	第33期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	フジプレミアム株式会社
【英訳名】	Fujipream Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松本 倫長
【本店の所在の場所】	兵庫県姫路市飾西38番地1
【電話番号】	079(266)6161(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員専務 IR・広報部長 大川 拓志
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市飾西38番地1
【電話番号】	079(266)6161(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員専務 IR・広報部長 大川 拓志
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第3四半期 連結累計期間	第33期 第3四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	9,731,382	13,353,142	15,313,369
経常利益 (千円)	1,054,366	1,207,635	1,509,878
四半期(当期)純利益 (千円)	529,899	718,804	808,669
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	580,104	730,124	859,534
純資産額 (千円)	7,540,498	8,378,603	7,819,928
総資産額 (千円)	16,534,981	19,896,628	17,227,540
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	18.54	25.16	28.30
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	44.9	41.5	44.7

回次	第32期 第3四半期 連結会計期間	第33期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.08	4.67

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。
なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「フラットパネルディスプレイ部門」及び「クリーン・エコエネルギー部門」は、それぞれ「精密貼合及び高機能複合材部門」及び「環境ビジネス部門」へ名称を変更しております。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済対策及び金融政策を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、円安による原材料価格の高騰や、消費税の引上げによる個人消費の落ち込みの影響等、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、タッチパネルやLED関連の市場が拡大し、堅調に推移いたしました。また、環境ビジネス部門におきましては、太陽光発電システムの産業用の需要が拡大し、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高13,353百万円（前年同四半期比37.2%増）、営業利益1,183百万円（同22.3%増）、経常利益1,207百万円（同14.5%増）を計上し、四半期純利益は718百万円（同35.6%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

精密貼合及び高機能複合材部門

当部門につきましては、国内外におけるディスプレイ市場は、裸眼3Dや4Kテレビ等の高付加価値タイプのディスプレイ市場が拡大し、堅調な推移を見せております。また、タッチパネル市場におきましては、産業用分野や教育分野、そしてアミューズメント分野等に使われる用途が広がり、生産量も拡大しております。しかしながら、新興国での生産技術の進化や低価格品の台頭等、世界市場での競争は激しさを増しております。このような市場の変化の中、精密貼合技術やダイレクトボンディング技術を活用し、新規生産設備の導入による生産の高度化を推進、更に、独自の技術を活かしLED関連事業にも参入する等、新規ビジネスへの取組みを強化し、実績を上げてまいりました。

この結果、売上高8,726百万円（前年同四半期比30.8%増）、営業利益797百万円（同19.3%増）となりました。

環境ビジネス部門

太陽電池の国内市場は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の施行により、中小規模からメガソーラーまで、産業用の需要が幅広く拡大いたしました。これらの市場から、超軽量太陽電池モジュールが、他社とは差別化された商品として受け入れられ、販売量の増加に貢献いたしました。しかしながら、平成26年9月、電力各社より再生可能エネルギー発電設備の系統連系接続申込みに対して、回答保留する旨が発表される等、市場環境としては厳しさを増しております。このような市場の動きに対応すべく、独自の技術で開発した超軽量太陽電池モジュールの更なる拡販、追尾型太陽光発電システム等の販売、住宅用発電システムの販売網の強化等の施策を実施してまいりました。

この結果、売上高4,627百万円（前年同四半期比51.2%増）、営業利益372百万円（同35.1%増）となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、86,592千円であります。
 なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	前年同四半期比(%)
精密貼合及び高機能複合材部門(千円)	7,793,203	34.6
環境ビジネス部門(千円)	2,597,491	12.7
合計(千円)	10,390,694	28.4

(注) 1. 金額は製造原価によっております。なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
精密貼合及び高機能複合材部門	8,690,172	28.4	124,848	12.3
環境ビジネス部門	4,672,726	48.7	111,672	36.0
合計	13,362,898	34.8	236,520	22.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	前年同四半期比(%)
精密貼合及び高機能複合材部門(千円)	8,726,012	30.8
環境ビジネス部門(千円)	4,627,130	51.2
合計(千円)	13,353,142	37.2

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 当第3四半期連結累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
旭硝子株式会社	4,389,855	32.9
日亜化学工業株式会社	2,072,840	15.5

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	105,000,000
計	105,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	29,786,400	29,786,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100 株であります。
計	29,786,400	29,786,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	29,786,400	-	2,000,007	-	2,436,668

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 1,211,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 28,574,000	285,740	-
単元未満株式	普通株式 1,000	-	-
発行済株式総数	29,786,400	-	-
総株主の議決権	-	285,740	-

- (注) 1. 「完全議決権株式（その他）」欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。
 2. 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式が61株含まれております。

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
フジプレミアム株式会社	兵庫県姫路市 飾西38番地1	1,211,400	-	1,211,400	4.06
計	-	1,211,400	-	1,211,400	4.06

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あると築地監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,708,690	7,933,726
受取手形及び売掛金	4,542,343	12,366,123
商品及び製品	967,737	1,695,911
仕掛品	765,847	420,579
原材料及び貯蔵品	706,622	792,692
その他	241,909	292,689
貸倒引当金	17,566	4,350
流動資産合計	10,915,584	13,497,371
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,280,229	2,217,764
土地	2,266,490	2,266,490
その他（純額）	1,357,076	1,505,430
有形固定資産合計	5,903,796	5,989,685
無形固定資産		
その他	16,013	11,059
無形固定資産合計	16,013	11,059
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	23,795	28,235
その他	373,012	374,938
貸倒引当金	4,662	4,662
投資その他の資産合計	392,145	398,511
固定資産合計	6,311,955	6,399,256
資産合計	17,227,540	19,896,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,310,257	2,113,601
短期借入金	2,700,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,632,013	2,333,720
未払法人税等	459,008	234,362
賞与引当金	15,563	4,132
その他	346,344	235,164
流動負債合計	7,463,187	7,120,981
固定負債		
長期借入金	1,770,000	4,239,893
その他	174,423	157,149
固定負債合計	1,944,423	4,397,043
負債合計	9,407,611	11,518,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	4,087,891	4,635,246
自己株式	863,890	863,890
株主資本合計	7,664,812	8,212,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,289	24,104
為替換算調整勘定	17,976	14,679
その他の包括利益累計額合計	36,266	38,784
少数株主持分	118,850	127,651
純資産合計	7,819,928	8,378,603
負債純資産合計	17,227,540	19,896,628

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	9,731,382	13,353,142
売上原価	7,930,642	11,353,083
売上総利益	1,800,739	2,000,059
販売費及び一般管理費	832,522	816,164
営業利益	968,217	1,183,894
営業外収益		
受取利息	3,760	4,126
為替差益	72,673	35,150
助成金収入	14,640	-
固定資産賃貸料	18	1,045
受取補償金	15,000	-
その他	10,294	15,530
営業外収益合計	116,387	55,853
営業外費用		
支払利息	29,764	26,061
リース解約損	-	5,900
その他	473	150
営業外費用合計	30,238	32,112
経常利益	1,054,366	1,207,635
特別損失		
固定資産除却損	-	9,868
ゴルフ会員権評価損	-	3,909
減損損失	1,378	-
特別損失合計	1,378	13,777
税金等調整前四半期純利益	1,052,988	1,193,857
法人税、住民税及び事業税	538,269	471,703
過年度法人税等	-	37,794
法人税等調整額	29,107	32,343
法人税等合計	509,161	466,251
少数株主損益調整前四半期純利益	543,827	727,605
少数株主利益	13,928	8,801
四半期純利益	529,899	718,804

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	543,827	727,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,253	5,815
為替換算調整勘定	23,023	3,296
その他の包括利益合計	36,277	2,518
四半期包括利益	580,104	730,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	566,176	721,322
少数株主に係る四半期包括利益	13,928	8,801

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形	- 千円	21,252千円
支払手形	-	324,664

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
減価償却費	268,929千円	254,044千円
のれんの償却額	678	678

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	171,449	6	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	171,449	6	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境ビジネス 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,671,220	3,060,161	9,731,382	-	9,731,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215,618	-	215,618	215,618	-
計	6,886,839	3,060,161	9,947,000	215,618	9,731,382
セグメント利益	668,711	275,495	944,206	24,010	968,217

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境ビジネス部門	全社・消去	合計
減損損失	1,378	-	-	1,378

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境ビジネス 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,726,012	4,627,130	13,353,142	-	13,353,142
セグメント間の内部 売上高又は振替高	293,278	-	293,278	293,278	-
計	9,019,290	4,627,130	13,646,420	293,278	13,353,142
セグメント利益	797,836	372,284	1,170,121	13,772	1,183,894

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、従来の「フラットパネルディスプレイ部門」及び「クリーン・エコエネルギー部門」は、それぞれ「精密貼合及び高機能複合材部門」及び「環境ビジネス部門」へ名称を変更しております。なお、当該変更は名称のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	18円54銭	25円16銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	529,899	718,804
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	529,899	718,804
普通株式の期中平均株式数(株)	28,574,939	28,574,939

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月12日

フジプレミアム株式会社
取締役会 御中

あると築地監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岩崎 和文 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 長井 完文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジプレミアム株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジプレミアム株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。